

新国立劇場2026/2027シーズンバレエ&ダンス
NEW NATIONAL THEATRE TOKYO 2026/2027 SEASON BALLET & DANCE

新国立劇場バレエ団
The National Ballet of Japan

Based on the original scenario by
Charles Chaplin

CITY LIGHTS

NATIONAL
BALLET
OF JAPAN
New National
Theatre, Tokyo
OPERA
PALACE
Tokyo
オペラハウス

[New Commissioned Work by the NBJ, World Premiere]

CITY LIGHTS © Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.
Charlie Chaplin™ © Bubbles Incorporated SA 2026



文化庁芸術祭
INTERNATIONAL ARTS FESTIVAL

2026
10 October
23
金 Fri
2026
11 November
1
日 Sun

令和8年度（第81回）文化庁芸術祭主催公演

チャールズ・チャップリン

街の灯

[新国立劇場バレエ団 委嘱作品・世界初演]

芸術監督: 吉田 都

Artistic Director: YOSHIDA Miyako

振付: アラスター・マリョット
原作: チャールズ・チャップリン
音楽: チャールズ・チャップリン ホセ・パディーヤ『La Violetera』
編曲: ティモシー・ブロック
美術・衣裳: ディック・バード
照明: エレン・ルーゲ
指揮: ティモシー・ブロック/富田実里
管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

Choreography by Alastair MARRIOTT
Story based on the original scenario by Charles CHAPLIN
Music by Charles CHAPLIN excerpt *La Violetera* by José PADILLA
Orchestration and musical adaptations by Timothy BROCK
Set and Costume Designer: Dick BIRD
Lighting Designer: Ellen RUGE
Conductor: Timothy BROCK / TOMITA Misato
Orchestra: Tokyo Philharmonic

資料・写真のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部舞踊 広報担当 清水千奈美

Tel : 03-5352-5735 / Fax : 03-5352-5737 / e-mail : shimizu_c4725@nntt.jac.go.jp

喜劇王チャップリンの名作『街の灯』世界初のバレエ化！

新国立劇場バレエ団は、2026/2027 シーズンの幕開けとして、チャールズ・チャップリンの不朽の名作映画『街の灯』(City Lights)を世界で初めてバレエ化した委嘱新作『街の灯』を、2026 年 10 月 23 日(金)より新国立劇場 オペラパレスにて上演いたします。

本公演の注目ポイント

1.喜劇王チャップリンの不朽の名作が世界で初めてバレエ舞台化！

笑いと悲哀、そして純粋な無償の愛を描き、映画史に燦然と輝く金字塔『街の灯』が、新国立劇場バレエ団の委嘱作品として世界初演を迎えます。

英国ロイヤルバレエで長年活躍し、英国バレエならではの演劇性を知り尽くしたアラスター・マリOTTが、チャップリン特有のユーモアと繊細な人間愛を、バレエという言葉を超えた身体表現で鮮やかに描き出します。言葉がなくとも雄弁に人の心を揺さぶるという本質で、深く共鳴する『街の灯』とバレエ。その融合にぜひご期待ください。

2.チャップリン自らの名曲がオーケストラ生演奏で蘇る

1931 年のサイレント映画『街の灯』は、チャップリンが自ら手掛けた音楽と効果音のみで構成された、オリジナルの映画音楽が使用された記念碑的作品です。今回の舞台では、無声映画のライブ演奏や 20 世紀初期作品の第一人者である指揮者ティモシー・ブロックが、この音楽をフルオーケストラ用に新たに編曲。本公演では自ら来日してタクトを執り、東京フィルハーモニー交響楽団による生演奏でお届けします。

3.豪華クリエイティブ陣と新国立劇場バレエ団が誇る多様なダンサー陣

美術・衣裳のディック・バード、照明のエレン・ルーゲなど、数々の受賞歴を誇る国際的スタッフ陣が『街の灯』の世界を華麗に創り出します。

主役の放浪者(トランプ)役を演じるのは奥村康祐、木下嘉人、水井駿介、石山 蓮の 4 名。多彩なレパートリーを誇る熟練のプリンシパルから、全幕主演に初挑戦する気鋭のダンサーまで、バラエティに富んだキャストが並びます。相手役の盲目の花売り娘は米沢唯、小野絢子、柴山紗帆、東真帆が配役されています。

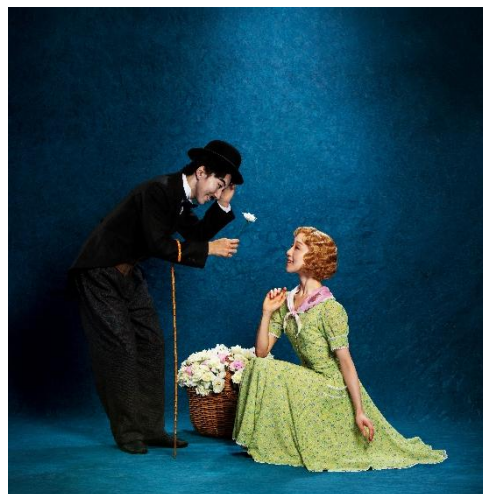
また、ナイトクラブのシーンには、木村優里、福岡雄大、井澤 駿、速水渉悟、渡邊峻郁といったプリンシパルたちがムービースター役で出演。劇中に華やかな彩りを添えます。

ものがたり

ある日、放浪者(トランプ)は街角で盲目の花売り娘と出会う。彼は彼女に富豪だと勘違いされるが、優しさと儚さに心を動かされ、正体を隠したまま、視力を取り戻すための手術代を稼ごうと奔走する。

一方、トランプは自殺を図った富豪を救い友人となるが、富豪は酔いが覚めると彼のことを忘れてしまい、奇妙な関係が続く。娘のために道路清掃員やボクサーとして働き、最後には富豪から得たお金を娘に渡すが、強盗の疑いをかけられ投獄されてしまう。

数年後、出所したトランプは、視力を取り戻し、花屋を営む彼女と再会を果たすが…



スタッフプロフィール

【振付】 アラスター・マリOTT (Alastair MARRIOTT)



エ団のために、マチュー・ガニオのソロ作品『月の光』をパリのガルニエ宮で発表。最近では、新国立劇場バレエ団のために吉田都演出『ジゼル』のステージングと改訂振付を担当した。

1988年に英国ロイヤルバレエに入団、96年ソリスト昇格、2002年にプリンシパル・キャラクター・アーティストとなり、03年より振付家としての活動を始める。ロイヤルバレエでは、アシュトン、マクミラン、バランシンの作品などに幅広く出演し、19年に振付に専念するため退団。ロイヤルバレエのために7つの1幕作品を振り付け、最新作である19年『アンノウン・ソルジャー』はオリヴィエ賞候補となった。その他、舞踊批評家協会賞に3回ノミネート、ロシアのゴールデンマスク賞にノミネートされている。英国ロイヤルバレエ学校のために3作品、ロイヤルオペラ『ロシア皇后のスリッパ』、女王陛下誕生日のガラのために『イン・ザ・グラス・ハウス』を振り付けている。その他、10年ロイヤル・バラエティ・パフォーマンスのためのパ・ド・ドウの振付や、ダーシー・バッセルへの『キス』『赤い靴』の振付も手掛け、12年ロンドン オリンピックの閉会式ではクリストファー・ウィールドンとも協働した。20年にはパリ・オペラ座バレエ

【編曲・指揮】 ティモシー・ブロック (Timothy BROCK)



©Nicola Vincenzo Rinaldi

ライブ演奏世界初演を行い、ローマ歌劇場管弦楽団でのデビューを飾った。

20世紀初期の作品や無声映画ライブ演奏を専門とする指揮者の顔を持つ傍ら、楽譜復元家としても知られ、これまでにショスタコーヴィチ『新バビロン』、サティ『幕間』、サン＝サーンス『ギーズ公の暗殺』、ヴォルフガング・ツェラー『吸血鬼』などの復元を手がける。1998年からはチャップリン家と長年にわたる協力関係を築き、『モダン・タイムス』『街の灯』『黄金狂時代』『キッド』など15作品のクリティカルエディションを作成した。作曲家として、『キートン將軍』『キートンの蒸気船』『吸血鬼ノスフェラトゥ』『月世界の女』など、40作品以上のサイレント映画のためのスコアを作曲。2022年5月サンフランシスコ無声映画祭からの委嘱でシュトロハイム監督『愚かなる妻』の新スコアを初演した。ニューヨーク・フィルハーモニック、パリ管弦楽団、BBC交響楽団、シカゴ交響楽団、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団、モントリオール交響楽団、フランス放送フィルハーモニー管弦楽団、スウェーデン放送交響楽団など、世界屈指のオーケストラを指揮。23年6月カラカラ浴場でチャップリン『独裁者』の

【美術・衣裳】 ディック・バード (Dick BIRD)



シアター)、『ライト』(コンプリサイト)をデザインしている。また、ケイト・ブッシュのために、ハマーミス・アポロでの『BEFORE THE DAWN』コンサートシリーズをデザインした。イングリッシュ・ナショナル・バレエの『くるみ割り人形』のデザインは、2025年ナショナル・ダンス・アワードにおいて最優秀クリエイティブ貢献賞にノミネートされた。

これまでに新国立劇場バレエ団『アラジン』『火の鳥』『ジゼル』、その他に『くるみ割り人形』『カンタヴィルの亡霊』(イングリッシュ・ナショナル・バレエ)、『くるみ割り人形』『アラジン』(バーミンガム・ロイヤルバレエ)、『ラ・バヤデール』(Kバレエカンパニー)、『雪女』『ドラゴン・クエスト』(スターダンサーズ・バレエ団)、『間違いの喜劇』『夏潮』(サラソタバレエ)などを手掛けている。オペラのデザインは『ファルスタッフ』(フェニーチェ劇場)、『オテロ』(ウィーン国立歌劇場)、『真珠採り』(メトロポリタン・オペラ、イングリッシュ・ナショナル・オペラ)、『湖上の美人』(英国ロイヤルオペラ)、『中国のニクソン』(デンマーク王立歌劇場)、『ストリート・シーン』(テアトロ・レアル)などがある。その他演劇では、『ハムレット』『ラ・グラン・マージ』(コメディ・フランセーズ)、『オテロ』『お気に召すまま』(グローブ座)、『オーウェン・ミーニー』『ザ・ナイト・シーズン』(ナショナル

【照明】 エレン・ルーゲ (Ellen RUGE)



オスロ生まれ、ストックホルム在住。スカンジナビアをはじめ、ヨーロッパ、アメリカ、キューバ、中国、イギリスなど世界各地で、オペラ・バレエ・演劇・公共空間のアートインスタレーションの照明デザインを手がけている。主な舞台に、ミラノ・スカラ座 (『ねじの回転』)、パリ・オペラ座 (『Un Sorte De』)、英国ロイヤルオペラハウス、バイエルン国立バレエ、ハンブルク・バレエ、ネザーランド・ダンス・シアター、クルベリ・バレエなど。ノルウェー、フィンランド、アイスランド、デンマーク、スウェーデン各国立オペラでも多数の作品を担当。25/26 年シーズンには、ストックホルムで『トスカ』『蝶々夫人』、コペンハーゲンで『リゴレット』、オスロで『フィガロの結婚』、パリで『エルコーレ・アマンテ』を手がける予定。受賞歴に、2007 年 OBIE 賞 (『野鴨』にて)、09 年 HEDDA 賞最優秀照明デザイン賞、17 年スウェーデン照明協会 SLF 賞、19 年スウェーデン国王金メダル、20 年スウェーデン演劇批評家協会賞、21 年ストックホルム最優秀照明アート作品賞などがある。

【指揮】 富田実里 TOMITA Misato



埼玉県出身。国立音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒業、桐朋学園大学音楽学部指揮教室等で指揮を学ぶ。堤俊作、湯浅勇治、松沼俊彦に師事。2013 年日本バレエ協会『ドン・キホーテ』でバレエ指揮者デビュー。その後、英国イングリッシュ・ナショナル・バレエ、バーミンガム・ロイヤルバレエの客演指揮者として『ロメオとジュリエット』『くるみ割り人形』『海賊』『コッペリア』『大地の歌』『ラ・シルフィード』『美女と野獣』を指揮したほか、日本でも東京バレエ団、牧阿佐美バレエ団、「NHK バレエの饗宴」ほかで指揮を務め好評を得る。新国立劇場では、数々のバレエ公演で副指揮者を務め、17 年よりレジデント・コンダクター。『シンデレラ』『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『アラジン』『ドン・キホーテ』『白鳥の湖』『ペンギン・カフェ』『コッペリア』『不思議の国のアリス』などを指揮している。近年の新国立劇場以外の活動としては、新作バレエ制作の音楽監督や、バレエ音楽についての執筆・講義活動も行っている。現在、井上バレエ団音楽監督、新国立劇場バレエ研修所『バレエと音楽』講師。

配役・プロフィール

2026 年 10 月					
	23 日 (金) 19 : 00	24 日 (土) 13 : 00	24 日 (土) 18 : 00	25 日 (日) 14 : 00	28 日 (水) 13:00
放浪者 (トランプ)	奥村康祐	石山 蓮	木下嘉人	奥村康祐	水井駿介
盲目の花売り娘	米沢 唯	柴山紗帆	小野絢子	米沢 唯	東 真帆

2026 年 10 月					11 月
	29 日 (木) 19 : 00	30 日 (金) 14 : 00	31 日 (土) 13 : 00	31 日 (土) 18 : 00	1 日 (日) 14 : 00
放浪者 (トランプ)	木下嘉人	奥村康祐	石山 蓮	木下嘉人	奥村康祐
盲目の花売り娘	小野絢子	米沢 唯	柴山紗帆	小野絢子	米沢 唯

【放浪者（トランプ）】



奥村康祐 OKUMURA Kosuke <シーズン・ゲスト・プリンシパル>

大阪府出身。母・地主薫に師事し、09年モスクワ国際バレエコンクールで銀賞受賞。翌年文化庁芸術祭新人賞を受賞。12年新国立劇場バレエ団に入団し、16年よりプリンシパル。『白鳥の湖』『眠れる森の美女』『ドン・キホーテ』などといった古典作品やD.ビントレー『アラジン』、R.プティ『コッペリア』、M.フォーキン『ペトルーシュカ』主役のほか、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのルイス・キャロルなどを踊っている。10年文化庁芸術祭新人賞、14年舞踊批評家協会新人賞、16年中川鋭之助賞、22年芸術選奨文部科学大臣賞。



木下嘉人 KINOSHITA Yoshito <ファースト・ソリスト>

京都府出身。寺田バレエ・アートスクールで寺田博保のもとバレエを始め、キウ国立バレエ学校で学ぶ。ドネツク・バレエにてワジム・ピーサレフに師事し、チューリングゲン・バレエ、ライブツィヒ・バレエ、ザルツブルク州立劇場バレエ団でソリストとして活躍した。15年新国立劇場バレエ団に入団、16年ソリスト、21年ファースト・ソリストに昇格。こどものためのバレエ劇場『シンデレラ』主役のほか、マクミラン『ロメオとジュリエット』マキューシオ、『マノン』レスコー、ウィールドン『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／白ウサギなどを踊っている。NBJコレオグラフィック・グループでは意欲的に作品を発表しており、2026年に「Dance to the Future2026」で委嘱作品を発表予定。



水井駿介 MIZUI Shunsuke <ファースト・ソリスト>

新潟県出身。佐渡バレエフレンドにてバレエを始め、渡辺珠実、上田めぐみに師事。2009年よりウィーン国立バレエ学校に留学。11年ウィーン国立バレエに研修生として入団。ポーランド国立バレエに移籍し、16年コリフェに昇格。19年より牧阿佐美バレエ団に在籍し、『くるみ割り人形』『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『リーズの結婚』『アルルの女』に主演。24年新国立劇場バレエ団に入団。『シンデレラ』『くるみ割り人形』主役のほか、『眠れる森の美女』青い鳥、『エチュード』、『ジゼル』ペザント パ・ド・ドゥなどを踊っている。



石山 蓮 ISHIYAMA Ren <ソリスト>

神奈川県出身。角屋満季子バレエ団を経て、2019年度新国立劇場バレエ研修所入所。研修最終年度には「ANAスカラシップ生」として認定された。21年3月同研修所を修了後、新国立劇場バレエ団に登録ダンサーとして入団。24年ファースト・アーティスト、26年ソリストに昇格。『ラ・バヤデール』黄金の神像、『眠れる森の美女』親指トム、『ジゼル』ペザント パ・ド・ドゥ、F.アシュトン『シンデレラ』道化、『夏の夜の夢』バック、K.マクミラン『マノン』物乞いのリーダーなどを踊っている。本作品が全幕公演での初主演となる。

【盲目の花売り娘】



小野絢子 ONO Ayako <プリンシパル>

東京都出身。小林紀子バレエアカデミー、新国立劇場バレエ研修所を経て、2007年に新国立劇場バレエ団に入団。08年『アラジン』の主役に抜擢され、その後もほぼ全ての作品で主役を踊る。11年プリンシパルに昇格。13年『アラジン』、14年『パゴダの王子』英国初演ではバーミンガム・ロイヤル・バレエにゲスト主演した。11年芸術選奨文部科学大臣新人賞および舞踊批評家協会新人賞、14年服部智恵子賞、16年橘秋子賞優秀賞、19年芸術選奨文部科学大臣賞。



柴山紗帆 SHIBAYAMA Saho <プリンシパル>

東京都出身。バレエスタジオDUO、ハリッド・コンサーヴァトリー、ピッツバーグ・バレエシアター・スクールで学ぶ。2014年に新国立劇場バレエ団に入団。古典作品やF.アシュトン『シンデレラ』『夏の夜の夢』、D.ビントレー『アラジン』、K.マクミラン『マノン』の主役、G.バランシン『テーマとヴァリエーション』『シンフォニー・イン・C』第一楽章、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』ハートの女王などを踊っている。21年ファースト・ソリスト、23年プリンシパルに昇格。



米沢 唯 YONEZAWA Yui <プリンシパル>

愛知県出身。塚本洋子バレエスタジオ、サンノゼバレエ団を経て、2010年に新国立劇場バレエ団に入団。11年『パゴダの王子』で初主役を務め、13年プリンシパルに昇格。初演した主な役には W.イーグリング『眠れる森の美女』オーロラ姫、C.ウィールドン『不思議の国のアリス』新国立劇場初演でのアリスなどがある。25年『ジゼル』ロンドン公演では初日公演の主演を務め、「理想的なジゼル」と高く評された。17年芸術選奨文部科学大臣新人賞、18年舞踊批評家協会新人賞、20年芸術選奨文部科学大臣賞、橘秋子優秀賞ほか受賞多数。



東 真帆 HIGASHI Maho <ソリスト>

長野県出身。白鳥バレエ学園で学び、ウィーン国立バレエ ジュニアカンパニー、ワガノワバレエアカデミー、パリ・オペラ座バレエ短期契約、スターダンサーズ・バレエ団を経て2024年新国立劇場バレエ団に入団。25年ファースト・アーティスト、26年ソリストに昇格。26年『くるみ割り人形』で全幕作品の主演デビュー。『眠れる森の美女』誠実の精、サファイア、『ジゼル』ベザント パ・ド・ドゥ、『ライモンダ』クレメンス、『白鳥の湖』クルティザンヌ、F.アシュトン『シンデレラ』春の精、W.フォーサイス『精確さによる目眩くスリル』、D.ドゥソン『A Million Kisses to my Skin』などを踊っている。

公演概要

2026/2027 シーズン

昭和 100 年記念公演

令和 8 年度（第 81 回）文化庁芸術祭主催公演



文化庁芸術祭
ACA NATIONAL ARTS FESTIVAL

新国立劇場バレエ団 街の灯 <新国立劇場バレエ団委嘱作品・世界初演>

City Lights

振付	アラスター・マリオット
原作	チャールズ・チャップリン
音楽	チャールズ・チャップリン / ホセ・パディーヤ『La Violetera』
編曲	ティモシー・ブロック
美術・衣裳	ディック・バード
照明	エレン・ルーゲ
指揮	ティモシー・ブロック／富田実里
管弦楽	東京フィルハーモニー交響楽団
出演	新国立劇場バレエ団
芸術監督	吉田 都

CITY LIGHTS © Roy Export S.A.S. All Rights Reserved.

Charlie Chaplin™ © Bubbles Incorporated SA 2026



【公演日程】

2026 年

10 月 23 日(金)19:00

10 月 24 日(土)13:00／18:00

10 月 25 日(日)14:00 **託児**

10 月 28 日(水)13:00

10 月 29 日(木)19:00

10 月 30 日(金)14:00

10 月 31 日(土)13:00 **託児** ／18:00

11 月 1 日(日)14:00

*開場は開演 45 分前です。開演後のご入場は制限させていただきます。

託児 託児室<キッズルーム「ドレミ」>がご利用になれます。

【会場】新国立劇場 オペラパレス (京王新線 新宿駅より 1 駅、初台駅中央口直結)

【予定上演時間】約 2 時間 1 5 分 (休憩含む)

【ウェブサイト】<https://www.nntt.jac.go.jp/ballet/citylights/>

【チケット料金】

席種	S 席	A 席	B 席	C 席	D 席	Z 席*
料金 (税込)	17,600 円	14,850 円	11,550 円	8,800 円	6,600 円	1,980 円

*Z 席は舞台のほとんどが見えないお席です。予めご了承ください。

※Z 席は公演当日朝 10:00 から、新国立劇場 Web ボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。1 人 1 枚です。

※上記の方法での先着販売後、残席がある場合は開演 2 時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。

※電話での予約は承れません。

※各種割引あり(高齢者・学生・ジュニア・U25/39・障害者等)

【前売り開始日】一般発売日：2026 年 8 月 16 日(日)10:00～

【チケットのお求め・お問い合わせ】

<ウェブでの予約・購入(座席選択可)>

新国立劇場 Web ボックスオフィス <https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ <https://pia.jp/t/>

イープラス <https://eplus.jp/>

ローソンチケット <https://l-tike.com/>

<電話での予約・購入>

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999 (10:00～18:00)

【関連イベント】

<バレエ『街の灯』グランエクスペリエンス>

日時：2026 年 11 月 1 日(日)公演

会場：オペラパレス

申込開始：2026 年 8 月 1 日(土)10:00～(事前申込制)

新国立劇場でのひと時を更に深くお楽しみいただける充実のホスピタリティプログラム。

開演前・幕間の特設ラウンジ利用や終演後の出演者・スタッフとの交流イベントを予定しております。